



2年次インターンシップ

6月27日～29日

事業所の皆様にご協力をいただいたおかげで、多くのことを学ぶことができました。

インターンシップの感想

- ★「働く」とは給料をもらうためにするものではなく、社会のために尽くしたり、他の人と協働し一つの目標に向かっていくようなものだと思って、考えが変わった。どんなに小さい仕事も、強い志を持って働かなければならないもので、改めて周囲の大人に感謝の心を持ちたいと思った。
- ★仕事は「作業をする」のではなく、「役割を果たす」という考えが変わった。
- ★働くことは自分の経験と知識になり、自分の生活に生かせようと思った。働くことを大切にして自分のスキルアップを目指せると思う。
- ★大変なこともあるけど、それも含めて「楽しい」ということ。
- ★「働くこと」とは自分一人では困難なこともある。しかし、会社の人と協力し助け合えることだとわかった。
- ★働くためには今以上に責任感や諦めない心が大切で、たくさんの経験を積んで学ばなければ、仕事は務まらないと感じた。
- ★お金が必要だから働くのだと考えていたが、体験（今回のインターンシップ）を通して「お客様のために働く」ということが大切だと感じた。自分のために働くよりも、誰かのために働いていた方が、やっていて楽しいから。
- ★「働くこと」とは生きていくうえで必要なことだけれど、その中で生きがいや誇りを見出したりすることによって、その職の楽しさや大変さを知り、個人個人の人間性の形成につながっていくのではないかと考えました。
- ★働くということは、誰かの幸せのために仕事をして、誰かが幸せになれるということ。誰かが働いてくれるから、自分が幸せでいられること。そして生きていくためになくてはならないもの。
- ★働くことは「生きがい」だと思いました。自分の好きなことである「生きがい」を仕事にすると、働くことに大きな夢を抱くことができるし、その仕事を一生続けることができると思います。
- ★以前は「技術」を問われる仕事と、「人との関わり合い」を問われる仕事は別のものだと思っていた。インターンシップを体験して、「技術」も「人との関わり合い」もどちらも大切で、ともに磨いていくことが必要だと気付いた。
- ★インターンシップでの体験を通して、自分の考えが変わった。もちろん大変なことがあったけど、自分の仕事にやりがいを感じたし、お客様や授業員の方とコミュニケーションを取ることで、働く意味や仕事の大切さがわかりました。
- ★働くということは、同僚の方々やお客様、取引先などと関わりコミュニケーションを取る必要があると思います。だから「人との関わり合い」こそが働くことだと思います。

